

大気海洋研究所のみなさま

本日、国の緊急事態宣言と東京都の緊急事態措置が解除される見込みです。
これに伴い、東京大学としての活動方針についての連絡が本部よりありました。

東京大学としては今後、徐々に活動制限を緩和していくこととし、今週1週間は感染防止対策および研究室再開に向けた準備(研究再開時のチェックリストの提供あり)の為の期間とし、来週から現在の行動制限指針レベル3からレベル2に緩和する予定とのことです。その後、2週間後(現在から3週間後)にさらにレベル1に緩和する。さらに、その後順調に感染が抑制されていくようであれば、最短でその2週間後にレベル0.5に緩和するというものです。ただし、レベル1及び0.5に基準を緩和するのは、感染状況や社会状況を判断した上でのこととなります。なお、レベル2から下げる場合にも、それに必要なチェックリストが提供されるとのことです。

後ほど、研究室および技術部の方には、レベル2の条件下で(レベル2になっても、まだかなりの活動を制限されます)、研究室毎に感染防止措置をどのように講じて研究活動の再開を進めていけるかについてのアンケートを実施いたします。このアンケートの結果を見ながら、今週中にはレベル2に下がった場合にどのようなルールで活動を再開させるかを決めて、ご連絡いたします。事務部の皆様には、事務長から別途ご指示があります。

なお、レベルが下がっても当面の間は在宅勤務が主体になることに変わりはありません。各研究室等では、引き続きwebを用いた会合などで研究室内のコミュニケーションの維持に努めて頂きますよう、お願いいたします。また、会計処理等を在宅で行うことができるシステムの構築も引き続き進めて参ります。

再び感染が広がることのないように対策を講じながら、研究・教育活動の再開を進めて行きたいと思っております。
ご協力いただきますよう、また、もしばらくのご辛抱をお願いします。

大気海洋研究所 所長
河村知彦